



すいみんじむこきゅうていこきゅうしょうこうぐん
 当院では、**睡眠時無呼吸低呼吸症候群**の検査を行っております。

次のような
 症状は
 ありませんか



大きな
イビキ
 をかく

日中
 いつも
眠い

居眠り
運転
 をよく起こしそう
 になる



夜間の
呼吸停止

夜中に
 何度も
目が覚める

起床時の
**頭痛や
 だるさ**

睡眠時無呼吸
 低呼吸症候群
 とは？



睡眠中に何回も呼吸が止まり、ぐっすり眠ることができない病気です。

大きなイビキや起床時の頭痛、夜間の呼吸停止、日中に強い眠気がさすなどの症状があります。

潜在患者は人口の2~3%といわれ、放っておくと**高血圧や心臓循環障害、脳循環障害**などに陥るといわれております。

また、日中の眠気などのために仕事に支障をきたしたり、居眠りによる事故の発生率を高めたりするなど、**社会生活に重大な悪影響**を引き起こします。

しかし、治療方法も確立されておりますので、適切に検査・治療を行えば決して恐い病気ではありません。

どのような
 検査を
 するの？



終夜睡眠ポリグラフィー (PSG)
 という検査を行います。

この検査では睡眠中の呼吸の状態、血液中の脳波や呼吸状態、血液中の酸素濃度、心電図などを同時に測定し、睡眠の深さや質を調べ、**いい眠り**が得られているかをみます。

眠っている状態を調べる検査のため、1,2泊程度の入院が必要になります。頭や顔・胸・腹・足などに電極やセンサーを着けますが、痛みなどはありません。日頃ご家庭でお休みになるようにリラックスして検査をお受けください。

